

携帯電話の市場は、第3世代(3G)移動通信システムからHSDPA(High Speed Downlink Packet Access)やCDMA 2000 1xEV-DO(Code Division Multiple Access 2000 1x EVolution Data Only) Rev. Aなどに代表される第3.5世代移動通信システムに移行しつつあります。それに伴い、高速通信に即したサービス展開やインターネットへのアクセスも増えてきました。また、顧客も従来の購買層に加え、高齢者や子供向けなど、その範囲は確実に広がっており、多様なデザインや形態、及び地上デジタル放送やFeliCaに代表される付加機能が求められています。

このような時代の変化に対し、モバイルコミュニケーション社は2007年には、より高精細化を求めたVGA(640×480画素)液晶ディスプレイ(LCD)搭載携帯、薄型で高画質のクリアスクリーン搭載携帯、及び“素材”、“質感”、“デザイン”に特長を持たせた携帯などを中心に開発を進めてきました。また、通信網が高速化されたことにより、携帯電話でもパソコン(PC)と同様なことが可能になってきており、Windows Mobile®搭載携帯やフルブラウザ対応携帯なども開発しました。

今後、携帯電話を取り巻く市場は、従来の通信インフラに加え、無線LANを用いた市場も拡大してきます。その変化に対応するために、従来から培ってきた無線、ネットワーク及びマルチメディア技術などの携帯電話のコア技術を開発し続けるとともに、テレビ(TV)、PC、及びDVDレコーダなどのデジタルプロダクツ商品との融合と連携を持った携帯電話を開発することにより、お客さまに満足いただける商品を提供していきます。

(注) ハイライト編のp.6に関連記事掲載。

統括技師長 湯嶋 彰

● au向け CDMA方式携帯電話 W53T

au向けCDMA方式携帯電話W53Tを商品化した。厚さ18mm、回転2軸スタイルのスリムでコンパクトなボディにワンセグ受信機能、196万画素カメラ、及びFeliCaなどを搭載した。

W53Tは、2.8型ワイドQVGA(400×240画素)LCDに強化ガラスパネルを密着させたクリアスクリーンを採用し、屋外や太陽光の下での視認性を改善した。更に、Qosmio™とREGZA™で培った映像技術でワンセグ画質を向上させた。

また、“デコレーションメール”や“ラッピングメール”などの最新メール機能を搭載するとともに、FeliCaを利用したコミュニケーション機能“Touch Message”や電子辞書“辞スバ”にも対応している。



au向け CDMA方式携帯電話 W53T
W53T CDMA2000 1xEV-DO cellular phone

● au向け CDMA2000 1xEV-DO方式携帯電話 W55T

CDMA2000 1xEV-DO方式のau向け携帯電話W55Tを商品化した。

厚さわずか9.9mm^(注1)のスリムボディと、カードサイズを実現しつつ、2.4型QVGA(320×240画素)LCD、196万画素カメラなどの機能を充実させた。本体上面のステンレスパネルの表面に、金属の質感を引き立たせるヘアライン仕上げや鏡面処理を施すことで、高級感のある上品なメタルデザインを演出した。

更に、世界最小で最薄^(注2)のLEDを縦7個×横7個に配列して本体上面のLEDディスプレイとし、時刻や着信の通知など新しい形の様々な表示を可能にした。

(注1) 最厚部13.1mm

(注2) 2007年9月現在、当社調べ。

関係論文：東芝レビュー. 63. 2, 2008, p.45-49.



au向け CDMA2000 1x/EV-DO方式携帯電話 W55T
W55T CDMA2000 1xEV-DO cellular phone

● SoftBank向け W-CDMA方式携帯電話 815T



SoftBank向け W-CDMA方式携帯電話 815T
815T W-CDMA cellular phone

SoftBank初^(注)の着せ替え携帯となるfanfun. 815Tを商品化した。

上パネル(108種)、中面シート、及び電池ふたが着せ替えできるフルカスタマイズ携帯で、上パネルに合わせた画面の変更も可能とした。更に、多様な点灯パターン^(注)の“キラキライルミ”を実装しており、ユーザーは独自の点灯パターンの作成により、自分だけの携帯を作ることができる。

また、196万画素カメラ、2.4型QVGA LCD、FeliCa、及びSuicaなどを搭載しつつ、厚さ約16mmの薄型化を実現した。従来から定評のある使いやすいユーザーインターフェイスはそのままに、キーパッドの押しやすさにも配慮している。

(注) 2007年8月時点、当社調べ。

● WILLCOM向け PHS端末 WX320T



WILLCOM向け PHS端末 WX320T
WX320T personal handyphone system (PHS) terminal

PHS高度化通信規格“W-OAM”(WILLCOM Optimized Adaptive Modulation)対応のWILLCOM向けPHS端末WX320Tを2007年7月に商品化した。

既存PHS端末に対し以下に示すような差異化を実現した。

- (1) 大型キーパッドの採用による操作性向上
- (2) アンテナ内蔵化による携帯性向上
- (3) 赤外線通信対応による互換性向上

また、2.4型QVGA LCDと、接写も可能な130万画素カメラ、microSDメモリーカードスロット、及び大容量バッテリーなどの基本性能を充実させた。更に、持ちやすさや開けやすさを追求し、デザインを工夫した。

● 海外向け 3G Windows Mobile[®] 携帯電話 PORTÉGÉ G910/G920



海外向け 3G Windows Mobile[®] 携帯電話 PORTÉGÉ G910/G920
PORTÉGÉ G910/G920 Windows Mobile[®] W-CDMA/GSM smart-phone

Windows Mobile[®] 6.0 Professionalを搭載した海外向け3Gスマートフォン PORTÉGÉ G910/G920を商品化した。

厚さ19mmと薄型化を実現しながらも、大型ワイドVGA(800×480画素) LCD、横型クラムシェル及び大型フルキーボードを採用し、Web閲覧やメールでのユーザーインターフェイスを向上させた。

外部機器との接続には無線LAN(802.11b/g)、Bluetooth[®]、及びUSB(Universal Serial Bus)をサポートし、PCや外部ネットワークとの親和性を充実させるとともに、更にmicroSDスロットも装備した。また、PORTÉGÉ G920はAssisted GPS機能^(注)をサポートし、Webなどでの位置情報サービスの性能を向上させた。

(注) 携帯電話のGPS(Global Positioning System)受信信号を、ネットワーク上の専用サーバで高精度に処理する測位システム。